

## 天明校区新校準備会だより



## 第10号

## 第10回新校準備会を開催

## 第10回新校準備会の概要

2月29日(木)19時より、天明まちづくりセンターA会議室にて第10回「新校準備会」を開催しました。各校区の自治協議会会長、各校の校長及びPTA会長、天明地区の保育園の保護者代表等の19名が参加されました。

最初に前回の新校準備会で出された意見についての回答を確認しました。次に1月に開催した地域部会と学校部会の内容について報告を行いました。その後、前回の新校準備会で9つに絞り込んだ校名案の中から一つを選ぶ話し合いを行い、最終的な校名案を決定しました。

## 次第

- 1 開会
- 2 教育委員会あいさつ
- 3 第9回新校準備会・第1回専門部会(地域部会・学校部会)についての報告
- 4 校名案の選定
- 5 その他
- 6 閉会

## 専門部会(地域部会・学校部会)の報告について

## 【地域部会の報告】

閉校後の利活用について他都市の先進事例を説明しました。部会員からは、より現実性のある案を示してほしいことや近隣の先進的な取組を見学したいという意見がありました。また、利活用についての意見交換を行うワークショップを設定してほしいという意見もあり、来年度の実現に向けて取り組みを検討していきたいとの報告がありました。

## 【学校部会の報告】

スクールバスのルート案を示しました。この案に関して、6月下旬までに学校や地域から意見を集めていただき、9月の新校準備会で案を示すことが報告されました。また、スクールバスについてはバス事業者の協力を得ながら進めていくことも報告がありました。

## 校名案の選定について

新校準備会ではこれまで班ごとで話し合う形式が多かったのですが、今回は校名案を全体で1つに決めることになるため、意見を出しやすい雰囲気になるように委員の方々には円形になって座っていただきました。

最初に前回の新校準備会で9つに絞った校名案の確認を行いました。話し合いでは委員の方々から「天明」という言葉を入れてほしいという意見が出されました。また、天明を漢字にするか平仮名にするかについて議論となりましたが、難しい漢字ではないことやこれまでの天明の歴史を考え、漢字にすることになりました。次に小中学校がよいか学園がよいかという議論となりましたが、これまでの小中学校の概念を払拭し、1年生から9年生までが一緒に学ぶ新しい学校であることを考え、学園としました。最後は「天明みらい学園」と「天明よつば学園」に絞られ、投票の結果、校名案は「天明みらい学園」に決定しました。「みらい」には未来を拓く子どもたちが通う学校となつてほしいという意味が込められています。今回はあくまでも新校準備会案ということになります。正式な決定は来年度になる予定です。



ご意見やご質問などがありましたら、熊本市教育委員会事務局の指導課もしくは教育改革推進課までお寄せください。 【指導課】096(328)2721 【教育改革推進課】096(328)2708